

季節のおはなし・旅便り

6月に入りました。

あっという間に 2025 年も折り返しになりますね

そろそろ梅雨入りも近いようです。

天候による様々な変化が出てくるこの季節…、

雨の多い梅雨のシーズンは、気持ちが沈む日もありますよね

そんな時は 咲き誇る紫陽花や菖蒲などの鑑賞をはじめ

この時期しか見られない自然を楽しんだり おうち時間を充実させたり

雨の日だからこそ ポジティブに楽しんでいきたいですね



6月

梅雨

6月は1年がスタートしてから半年となる節目の月です。この時期になると梅雨前線がやってきて北海道を除く日本列島は長雨に見舞われます。梅雨のじめじめした時期は過ごしにくいものです。地域によってばらつきはありますが、早ければ5月の下旬、平均して6月上旬には梅雨入りをし、明けるのは7月の中旬過ぎで約1ヶ月半、この梅雨が続きます。

長い梅雨は恵みの雨
秋の実りのため、また…
さまざまな花を咲かせるためにも不可欠です。
時に長雨は災害を引き起こすこともあります
梅雨には日本人の生活にも重要な役割をしてくれます。
そして…月の終わりになると
全国各地の神社において
この半年にたまつた厄を祓い
これから半年も無事に過ごせる行事
名越の祓がおこなわれます。

「雨の日は何もすることがないな…」「今日も雨で気持ちが落ち込む…」
雨に吸い込まれて、気分も落ち込みがちですよね。
でも、自宅でも外でも雨の日だからこそ楽しめることもあります。
雨の日でもワクワクするような1日にしましょう！

梅雨にも“性格”がある？

梅雨には「男梅雨(おとこづゆ)」と「女梅雨(おんなづゆ)」と呼ばれる種類があることをご存じでしょうか。

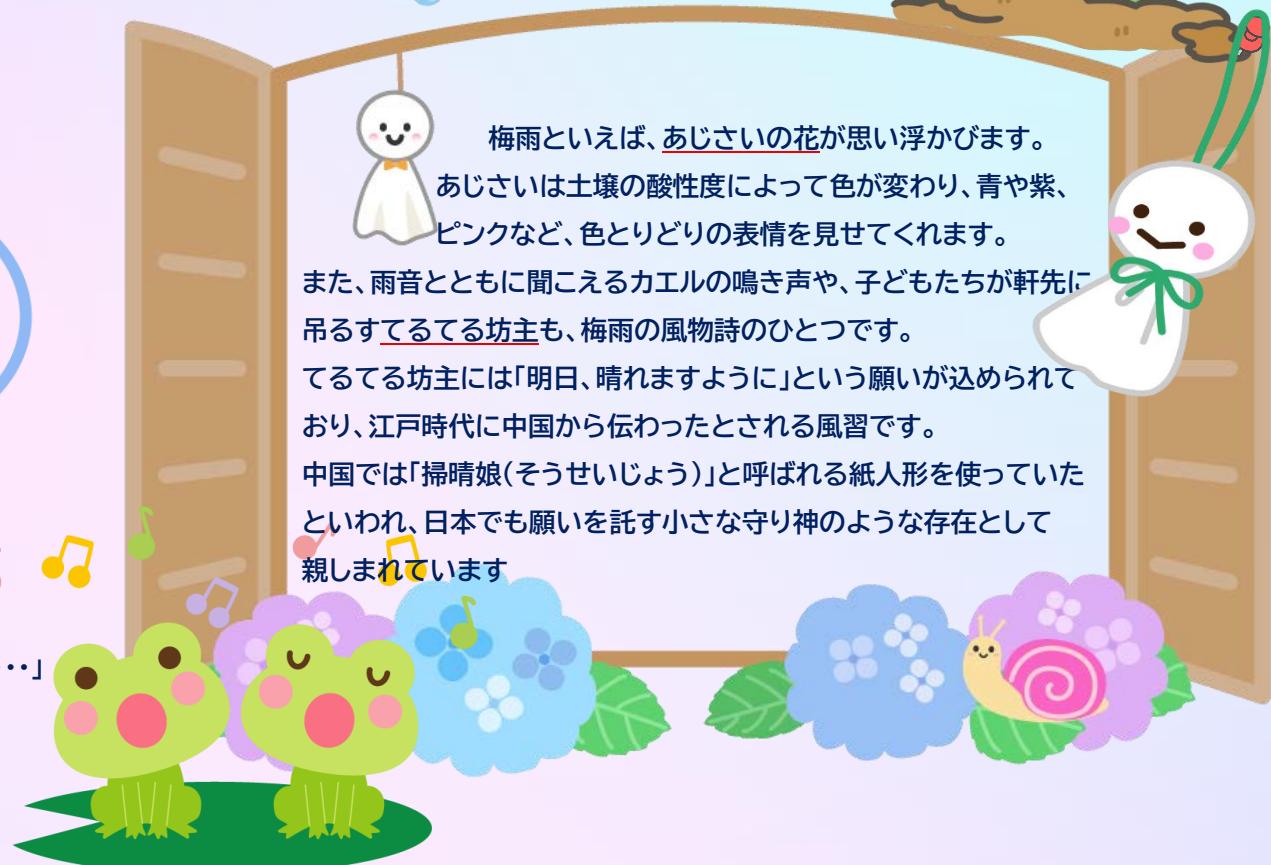
- ・男梅雨は強い雨が降った後、すぐに晴れてカラッと空気が乾くような梅雨の時期を指します。
- ・女梅雨はしとしとしと、穏やかに雨が降り続く梅雨の時期を指します。毎年、どちらの傾向が強いかは異なり、気象の個性やその年の空模様の“表情”とも言えます。
どちらの梅雨も、それに備えが必要です。
短時間で強く降る雨には浸水や土砂災害の注意を、長く続く雨には湿気対策やカビ予防も心がけましょう。

梅雨



梅雨といえば、あじさいの花が思い浮かびます。
あじさいは土壤の酸性度によって色が変わり、青や紫、
ピンクなど、色とりどりの表情を見せてくれます。

また、雨音とともに聞こえるカエルの鳴き声や、子どもたちが軒先に吊るすてるてる坊主も、梅雨の風物詩のひとつです。
てるてる坊主には「明日、晴れますように」という願いが込められており、江戸時代に中国から伝わったとされる風習です。
中国では「掃晴娘(そうせいじょう)」と呼ばれる紙人形を使っていたといわれ、日本でも願いを託す小さな守り神のような存在として親しまれています



6月・季節の花のおはなし

初夏の水辺を彩るハナショウブ・アヤメ・カキツバタ

初夏から梅雨に時期に見頃を迎えるハナショウブ・アヤメ・カキツバタ…

紫の美しい花びらが初夏の風物詩となる三種の花…

菖蒲の華やかな紫色、アヤメの優雅な姿、そしてかきつばたの水面に映える美しさ、繊細な日本の美意識を楽しむことが出来る花ですが似ているようで違う特徴と魅力を持つ花々です。ちょっと見ただけでは、さっぱり違いが分からない人もいますよね～「いずれあやめか、かきつばた」という、美人の優劣の区別がつかない名言もありますが見分け方を知れば、観賞の楽しみがさらに広がります

アヤメ



咲く時期

5月中旬～下旬

花茎が短く、

葉は比較的

幅広い



アヤメの花には、
網目のような模様が入っている

あやめは陸地で咲く
水のないところで見たらアヤメ

カキツバタ



カキツバタの花には
白い筋が入っている



葉は細く柔らかく、
水辺に自生することが多いのが特徴
咲く時期 5月中旬

水



アヤメ・ショウブを漢字で書くと「菖蒲」

でも漢字は同じでも、菖蒲(アヤメ)菖蒲(ショウブ)は別物です。

勿論、花菖蒲(ハナショウブ)・杜若(カキツバタ)も違います。

あまりにも、花の形や葉もよく似ていて、迷ってしまいますよね～

菖蒲と花菖蒲のちがい

サトイモ科の「菖蒲」と、
アヤメ科の「花菖蒲」は、
まったく別物の花ですが
同じような名前をもつ理由は、

端午の節句で「菖蒲湯」に入る時使う菖蒲の葉っぱと
形が似ているため「花菖蒲」と名付けられた。見事な花を咲かせる花菖蒲のほうが
各地で広く栽培されるようになり、いつのまにか「ショウブ=花菖蒲」
というイメージが強くなったようです
「菖蒲」と葉っぱの形が似ていたので「花菖蒲」と名付けられたのに、
その花の見事さから「菖蒲」といえば「花菖蒲」のイメージが先行している



ハナショウブ

花菖蒲の花びらには、
黄色い筋が入っている
葉の中央に太い筋が



花ショウブは、水際に咲く
菖蒲園では、菖蒲が水の流れに
沿って群生している
咲く時期 6月～7月中旬

半乾湿地



RAINY SEASON

梅雨特集

梅雨でも旅を満喫しましょう

雨に映える絶景！梅雨の時期に行きたい花スポット



梅雨時の心を癒やしてくれる、梅雨の風物詩・あじさい。

ピンクやブルー、白や紫など色とりどりのあじさいは、雨の日でもほっこりとした気分にさせてくれますよね。

鶴岡八幡宮で楽しむあじさい

鎌倉を代表する歴史ある神社・鶴岡八幡宮では、春の桜や秋の紅葉に加え、梅雨の時期に咲くあじさいも訪れる人々の目を楽しませてくれます。境内では段葛や源平池周辺を中心に、色とりどりのあじさいが咲き誇り、静けさと華やぎが共存する風景をつくり出します。特に花手水は季節限定の風物詩



あじさいをイメージしたクリームソーダ
「kamakura rain」も期間限定で登場



鎌倉でおススメしたいのが「あじさいスイーツ」

ガイドさんのおすすめは

鶴岡八幡宮前の参道から鳥居をくぐり抜けてすぐ横に佇む“和モダン茶寮『風の杜』

創業300年以上の歴史を誇る葉山の老舗日本料理店

日影茶屋が監修する和モダンカフェ

この時期の季節限定スイーツ「あじさいセット」



令和7年度「小田原城あじさい花菖蒲まつり」
5月31日(土)～6月15日(日)
小田原城本丸東堀・花菖蒲園の約10,000株の花菖蒲と
約2500株のあじさいが6月に見頃を迎えます。

この時季に箱根へ旅行に行くなら、箱根湯本から強羅までを結ぶローカル列車
「箱根登山電車」へ乗ってみて。



この時季に箱根へ旅行に行くなら、箱根湯本から強羅までを結ぶローカル列車
「箱根登山電車」へ乗ってみて。

箱根の山をトコトコ上っていくこちらの列車。例年6月中旬から線路沿いの山道に
あじさいが咲き誇り、車内からあじさいの絶景を楽しむことができるよ。

この季節は「あじさい電車」という愛称でも親しまれ、

6月13日～6月30日18時半～22時まで、あじさいのライトアップも開催。

ライトアップされたあじさいを座席指定列車から楽しめる「夜のあじさい号」は、

6月14日～6月30日まで運行

堀切菖蒲園

花菖蒲は江戸の名所のひとつとして古くから知られ、
なんと江戸時代に全国で初めて誕生した菖蒲園なんですよ♪
安藤広重や歌川豊国らの絵の題材にもなり、花菖蒲の
種類は約200種、6000株にもおよびます。
周りは大都会なのに、ここだけはゆっくり時間が流れ
るような雰囲気です。菖蒲まつりは5月の月26日～6月15日まで
6月6日(金)・7日(土)に、花菖蒲のライトアップも行なわれ、
幻想的な光で闇夜に浮かび上がる花菖蒲も素敵です。



葛飾区 都内最大級の花菖蒲の楽園、

水元公園の「花菖蒲園」が見頃！

5の区画に分けられた菖蒲田にはそれぞれ水が張られ、

水鏡に姿を映す大輪の花が涼しげ。約100種/14000株もの花菖蒲は圧巻の美しさ

「第74回水郷潮来あやめまつり」5月23日～6月22日



昭和27年にはじまった歴史あるまつり
園内には、約500種100万株の
あやめ(花菖蒲)が植えられており、
見頃を迎えると一面に咲き誇ります



ムーミン80周年を祝う「ムーミン谷とアンブレラ」～7月6日まで
6回目を迎える今年の「ムーミン谷とアンブレラ」は、
ムーミン80周年の記念の年を祝う特別な演出で、
これまで以上に色鮮やかな景色が広がります。
さらに、「入り江のテラス」に新たにアンブレラオブジェが登場し、
幻想的な空間を演出。
80年の時を歩んできたムーミンの物語の世界へ。
色彩あふれるアンブレラの下で、
アンブレラスカイが広がるイベント期間中は、晴れの日はもちろん、
雨の日でも映えるフォトジェニックな世界。
雨上がりのリフレクションはもちろん、無数の傘の下、歩く雨道は
この季節しか楽しめない特別な瞬間です。
ムーミンバーパークならではの特別なひとときを
お楽しみ頂けます。

尾瀬の水芭蕉の見ごろは5月下旬から6月上旬

尾瀬ヶ原で標高1,400m、尾瀬沼は標高1,660m。都心に比べ10℃以上
気温が低く、咲き始めの5月末頃は未だ木道や林道に雪が残ります。
6月に入る頃には足元の状況も大分に良くなり、水芭蕉の魅力に引き寄せられ
多くの観光客で賑わいます。

雨引観音あじさい祭

6月10日～7月20日

イベント

水中華

開催期間: 6月21日～7月6日

ライトアップ

開催期間: 6月21日～7月6日

開催時間: 夕暮れ～20時まで(土曜日・日曜日は21時まで)



梅雨のお花見スポットは紫陽花や菖蒲だけじゃない！



「河口湖ハーフフェスティバル」期間中は、紫色が美しいラベンダーの花々が一齊に開花。
裾野まで広がる雄大な富士山と河口湖、そしてラベンダー畑の絶景を楽しむことができる。
場所: 大石公園と八木崎公園の2箇所
期間中、7月5日(土)の夜には八木崎公園から徒歩15分の場所に位置する
河口湖畔大池公園で「富士山・河口湖山開きまつり花火大会」も開催。
毎年人気のイベントで出店やショップもあるので、ソフトクリームを食べたりお土産を買ったり
して観光を楽しめる



はるかな尾瀬…遠い空♪